

月刊

ひでかし

東久留米梅林堂



2
2002
2002

今月のコンサート

1月13日にThe DOORSにて「はじめまして！2002」が行われました。2002年初めは『はじめまして』でスタート。1月公演は加奈ちゃんが体調不良で、里奈ちゃんが受験勉強で欠席でした。今年一年どう過ごしたいかを言いながら自己紹介。春香ちゃんは、去年遅刻多かったので一秒一秒を大切にすること。伶奈ちゃんはSKiに全力を注ぎつつ学校で赤点を取らないようにすること。1月公演恒例の大喜利コーナーでは、「初雪や」を付けて五七五を。「苺のシロップあったかな？」と真冬ちゃん。万里菜ちゃんは「シロップかけてかき氷」。真冬ちゃんと彩乃ちゃんはよく食べているとのこと。「りりとたわむれ雪だるま」と春香ちゃんが言えば、「そして春香はつるころりん」とりりかちゃん。「可憐な私にぴったりだ」と美香ちゃん。ちょっと掛け合いのお題で妃奈子ちゃんは「なぜ朝食を一口食べてじっとしてるんですか？それは不味くて、ちょーショックだから」とギャグを。第2部はかくし芸大会。伶奈ちゃんと久美子ちゃんはタップダンス。梢ちゃんは華麗なコサックダンスで対抗。第3部は歌謡祭でした。

同日に「新春！時代劇一座旗揚公演」が行われました。信じてる迷信を言いながら自己紹介。節分で太巻きを切らずに食べると福が来ると彩乃ちゃん。やはり食べ物のことになる彩乃ちゃんですね。万里菜ちゃんは、すいかの種を食べると芽が出ること。いとこが食べたのに出なかったと、信じていないのでは？ 第2部は劇。『てなもんや清水次郎長伝「森の石松血風録」東海遊侠伝より』という劇で、台本は月蝕の高取英さんが担当しました。森の石松は梢ちゃん。時次郎のりりかちゃんと珍念の万里菜ちゃんのコンビも光っていました。証文(しょうもん)をしょうぶんと言う美香ちゃん。本気で間違えていますねえ(^^;)。途中で着替えの時間かせぎか時次郎と珍念の場つなぎを。何か言ってくれよ～と苦労する2人でした。この日は最後のシーンがなくて終わりました。第3部は歌謡ショーでおまけもありました。

1月14日に「新春第2弾！時代劇はたのしい～っ公演」が行われました。いきなり劇からスタート。この回が最終公演。最終公演はアドリブが多いというのも恒例のこと。酒じゃなくて醤油だったとか、何か釣れたとして、目くじらが釣れたという梢ちゃん。昨日の場つなぎが六本木のキャバクラに行くというお芝居に。万里菜ちゃんも、生きてる石松になんまいだ～と言ったり、りりかちゃんは、死んでないのに、珍念の仇取ったるでえと言ったりしてました。でもなぜか最後に見たことない衣装に着替えた美香ちゃん。どうも踊る女という役だったらしい。今回の劇はなんと12/28に台本依頼したそうで、高取さんが正月返上で書いたとのこと。レッスンも3日しかなくて、全員で合わせたのは昨日が最初のことらしい。そう考えると劇はよかったですねえ(^^;)。

同日に「2002年SKiのLet's - Good・Start!!」が行われました。好きなおせち料理を言いながら自己紹介。妃奈子ちゃんはふわふわした伊達巻き。舞香ちゃんは栗きんとん。でも遠藤家では、さつま芋で作ること。毎年作ってるそうだ。春香ちゃんも栗きんとん。歌中心の構成で途中15分の休憩をはさんでおまけありの公演でした。前半のMCのテーマは私のライバル。真冬ちゃんと久美子ちゃんはお互いを指名していました。後半のMCのテーマはこんなモーニングコールがあったら。りりかちゃんは朝寝ぼけているのでいきなり質問する目覚ましを。彩乃ちゃんは舞香ちゃんの怖い声で。でもたまにはやさしい声で起こして欲しいとのことでした。

今月のしでかし ~飛び交う鮮血~

ザムザ阿佐ヶ谷にて月蝕歌劇団の1月公演が上演されました。23日から28日に聖同盟「女神ワルキュ - レ海底行」、31日から2月5日には幻同盟「ネオファウスト地獄変」。

「ネオファウスト地獄変」は、「女神ワルキュ - レ海底行」の続編ということで中2日の上演となりました(ご苦労様です)。前作には制服向上委員会から4名が劇団史上最も若いゲスト(13歳~17歳)として、後作には長崎萌が客演しました。萌ちゃんがすばらしい! 当て書なのか、萌ちゃんの可愛さと強さがよく出ていました。好きになってしまった人が自分を見てくれない、それでも尽くしつつ懸命に振り向かせようとする悪魔マイナス。でも悪魔ってもっとうるさいんじゃないのか(笑)。こんな悪魔がド・レ・イになってくれるんなら魂だってなんだってくれてやるぞ、くう~。それでも、登場時のいたずらっぽい雰囲気や、「地上の王になりたい。」と聞いた時の嬉々とした「うい、むっしゅう!」は悪魔だった。そして、そんなマイナスをサポートするアシスタントのマ - ク。こちらはスギウラユカが好演。この2人に全部持っていた感の芝居となつた。それでもコミカルな味を出していた森永理科や、相変わらず憎らしい敵役の美里流季など、そしてもちろんもうひとりの主役麻田真夕も良かった。残念なのは、連続公演となったせいで、前作主演だった一ノ瀬めぐみが顔見せ程度で終わってしまったこと。

スト - リ - は、1969年東都大学の教授田代は、悪魔と契約し、地上の王になろうと60年安保闘争に介入する。しかし神の見張りがついた少女石川理央に惚れてしまったことから、神と悪魔が戦うことになる。途中には前作を観ていない人のために要約(?)も入る親切な作り(笑)、各所にちりばめられた小ネタ。共演者にも脚本にも恵まれたこの芝居は、文句なしに、「月光の不安」と並ぶ長崎萌の代表作と言えるだろう。さて話は前後するが、「女神ワルキュ - レ海底行」は、4度目の上演となるそうで今回は一ノ瀬めぐみが主演。敵役には野口員代。ゲストの内3人は女子挺身隊山下(吉田)副井(河野)、戸村(松本)として、もう一人は飴屋の妹(片平)として出演。戸村は台詞が、「はっ!」しかなかった(涙)。スト - リ - は時間が前後するので、ややわかりづらい。1945年女子挺身隊12名は、18年前に沈んだ戦艦松島に積まれていた最終兵器を手に入れ16年前の七里ガ浜ボ - ト遭難事件を阻止しようと時間航海機で出発する。しかし...。

全体にやや雰囲気が重かった。蛍燭踊りは無く血糊も控えめ(?)は、ゲストへの配慮か? 劇場では、開場前には外で月蝕占い、客席では前作はワルキュ - レ占い、後作は全共闘占いとして御神籤が売られた。(マッチ箱以上にぼつてある(謎))。また土日の公演後にはオ - クションがあり、サイン色紙やきつねの面、落書き、白鳥のボ - ド等が出典された。さらに前作の土日には、「ネオファウスト地獄変」の予告編(今回は本キャストで)の上演もありお得(笑)。ただしエンディング曲は平日しか歌わない。両方行かなきゃ! 客席は少々居住性が悪いが、最近見かけなくなった人が観に来ていたりして(笑)、なかなか楽しい6日間だったようだ。次回公演にもSKiが参加の予定とか。今年も「取り込まれました」が流行るのでしょうか(^^)?



今月のLIVE

1月は関東ライブハウスツアー「THE DOORS SESSION TOUR 2002」で各地を廻っているみかさん。11日の宇都宮VOGUEに続いて、16日には熊谷VOGUEにて行われました。熊谷は初めてというみかさん、千葉からは遠かったそうだ。宇都宮と同様に、地元のStrawberry Clashという二人組のバンドでスタート。初めて見るお客様を目の前に漫才を噛ますあたりはただ者じゃない(^^)。続いてみかさんのコーナー。しっとりと8曲を熱唱。ライブハウスを廻り沢山の方と出逢って、新たなきっかけが生まれると良いなどみかさん。今日も関谷さんは欠席で、加納さんの一人ロック。ちょっと音声トラブルがありましたが仕切直しで素晴らしい演奏を聴かせてくれました。最後は2人のセッション。今日も早く着いたそうで、喫茶店で時間を過ごしていたらしい。前回から食べてばっかりとみかさん。「違う意味で一回り大きくなったら嫌ですよね~」と心配する場面も(^^)。ツアー後の合い言葉になりそうですね(笑)。最後に花束が贈られ笑顔で終了しました

19日は本八幡のThe 3rd Stageにて行われました。今回は「Girls! Girls! Girls!」と題して沢山の女性アーティストが参加しましたが、今日も関谷さんは欠席。相当重症のようだ(^^)。この日は30分の短縮バージョンであつという間に終了。その分最後のバンド・Child Hood Makerに注目が集まりました。大きく見えるベースがポイントらしい(^^)。

21日は柏のCLUB ZAXで。こちらは吉田未来さんが登場、よしだみきと読みます。キーボードの弾き語りをしっとりと聞かせてくれました。一期生に同じ字を書く先輩が居て、最初見た時ドキッとしたとみかさん(^^;)。やっぱりみかさんでも怖いのかなあ。今日も加納さんの一人ロック。でも構成を変えて新鮮な気分で行われました。

24日は横浜QLUB 24 WEST。ここはワンマンライブで、ゆったりと行われました。今日は中華街かな?。ここでは二回りくらい...(笑)。横浜の印象は、短い横断歩道とか。それって目の前だけじゃないですか?(^^;)。交番の前なので赤信号で渡りたい気分を抑えるのが大変だったらしい。前日の23日には、月蝕の歌劇を見てきたそうで、妃奈子ちゃんが可愛かったそうだ。是非御覧くださいの声に、明日行こうとお客様(^^)。私もライブありますので...と苦笑いのみかさんでした。今回から関谷さんが復帰。キーボードが加わり、演奏に深みが出ます。セッションでは『ラストダンス』を熱唱。



あなたの好きなコンサートへ行ってらっしゃい の歌詞が見事にはまりました(^^)。

25日は前橋のRATTANにて行われました。地元のバンドが2組登場したらしい。

28日は埼玉エアーズ。いつものように「何処から来ましたか?」と振るみかさんに、阿佐ヶ谷~と答える大多数のお客さん。あちらは今日が千秋楽ですね。今日は生姜焼きがキーワード(^^)。技術面でも一回り大きくなるのが目標とみかさん。「でも」ですか?

29日は町田のPLAY HOUSE。こちらは外道で良く演奏していたそうです。町田の印象は賑やかで、また遊びに来たいそうだ。でも来る途中の壁画を怪しがっていました。

30日は稻毛のK's DREAM。長いツアーもいよいよ最後です。ライブハウスで歌うのは、ホールと違って勉強になつたらしい。他のアーティストとも出逢っていろんな影響を受けたようですね。技術面も一回り大きくなつたみかさんに期待しましょう。

今月のBIRTHDAY

2月2日に初台 The DOORSにて「橋本美香 22才の青春」が行われました。もう5回目になるBirthday Party、今年も会場が変わりましたね。ライブハウスで歌を中心に行われました。お客様にはお寿司が振る舞われ、お酒ではなくお茶が飛ぶように売れていたらしい。ドリンク担当のお手伝いさんも要因だったとか(^^)。美香ちゃんの所へは出番直前に来た為に食べられなかつたらしい。きっと今頃お手伝いさんがペロリと…(^^)。美香ちゃんはまだワサビが苦手とか。「今年の目標はワサビ」と宣言。でも毎年言っているらしい(^^;)。Birthdayでの印象は、SKiで初めて祝って貰った事。「あの時は…」と美香ちゃん(笑)。自分の事に沢山の方が来て感動したらしい。今日は一人で話すのが不安との事でお手伝いの彩乃ちゃんがスケッターに登場します。「おめでとうございます」の声に「6日まではまだ 21才」とこだわる美香ちゃん(笑)。「世間一般にはこれから」と説いていましたが、彩乃ちゃんが入った時は、「美香さんはまだピチピチだった」と追い打ちを掛けます(^^;)。動転したのか、思わず「グループに入ったきっかけは?」と聞いてしまう美香ちゃん。『M』はどうしちゃったんでしょうねえ(ぼそ)。

21才での印象的な出来事は、アルバムを出した事。器用じゃなくて、人より時間が掛かると美香ちゃん。追いつかなくて、悔しくて基本を何度も練習したとか。そんな私がCDを出せて、自分に自信が持てたと振り返っていました。キャンペーンで沢山の方と握手して、いろんな所に出かけて聞いて貰うのが大切だと実感したらしい。4曲歌った所で、前半のツーショットポラが行われました。この後、美香ちゃんのお色直しの時間を彩乃ちゃんが繋いでくれます。美香ちゃんの裏話も少々(^^;)。最近ボケが空回りしているそうで、シーンとなって流される事も少なくないらしい(^^;)。ここで彩乃ちゃんが『ホットチョコレート』を熱唱。相当照れたそうだ(^^)。続いてはアコースティックコーナー。久々にマイギターが登場も、「音程は気にしないで下さい、楽しくやるのが一番」とクギを差します(笑)。最近練習もしていなかったそうですが、関東ツアーを廻って楽器を弾きながら歌えればいいと実感したそうだ。改めてスタートするので、今からの成長を見守ってくださいとの事でした。丁度、みかしゃんがギター講座やってますけど、どう?(^^)。終盤ではブルースにチャレンジ。喋りながらなんて無謀と言いながらもなんとか進めていきます。彩乃ちゃんが合わせて『低血圧のブルース』を歌うもちょっと苦しそうでした(^^)。SKiに入って7年、いろいろ勉強になったと美香ちゃん。負けず嫌いのおかげで、沢山練習してあっという間に時が過ぎたそう。リーダーはいろいろ考える場面が多くて、そのおかげで精神年齢が38才らしい(^^;)。少しでも多くの事を後輩に教えて、私も学んで成長していくければ良いなと、抱負を語ります。特に、施設を訪れて子供達の純粋で明るく仲良し姿を見て、私達も負けてはいられない感じたそう。SKiはいろんな経験が出来るグループで、日々勉強になるとのことでした。最後にお客さんから『ハッピーバースデイ』の祝福が贈られ、感激の美香ちゃん。素敵なお22才になると良いですね。



今月のしでかし～リーダーへの道～

2月3日に LR にて、リー・サブ・チー責任者合同会議「SKi 3人衆揃い踏み」が行われました。入り口では、節分にちなんでサブちゃんとチーちゃんが豆を配ります。おい／＼でちゅか？の問い合わせにみんななんて答えたんでしょう？(笑)。このイベントで、それぞれのリーダーの仕事について見直す機会と美香ちゃん、今日はビシバシと行きます！と宣言。リ・ダ・という職に就いたからにはみんなのお手本になるようにとのことです。この3人といえば時代劇とのことで、なぜか1月のコンサートでの芝居を振り返ります。まずは設定。時次郎は女好きの旅人。森の石松は馬鹿で単純でだまされ易くかつ、自分は馬鹿じゃないと思ってる。一方の都鳥吉兵衛は救いようのない悪人。役ですからねと、美香ちゃんの念押しが入ります(笑)。本当の私は嘘をつくと笑っちゃうとのことです。いよいよ本題に入って三頭政治の歴史。初代サブの朋美ちゃんは心遣いのうまい人で、通じ合ってたと美香ちゃん。今でも連絡取り合ってるそうだ。初代チーのえりぴょは、後輩の雰囲気を和ませる、後輩側から相談しなくとも聞いて来てくれるとのことでした。さてリーダーが期待するサブとチーの役割ですが、チーのりりかちゃんはマイペースな所があるので、周りに目を向けて積極的に言って欲しいとのこと。サブの梢ちゃんは、自分でいっぱいいいっぱいな部分があるけど、梢ちゃんからもみんなに注意するように。例え自分ができないことでも、間違ったことは正さないと誰も直す人がいなくなる。嫌われることを怖がっちゃいけないとアドバイス。「飴と鞭」が必要とのことでした。実際7期8期のみんなはしっちゃかめっちゃからしい(^^;)。「仲がいい事」の内容に目を向けて欲しいそうだ。最近、指示を出してもみんな生返事だけのことが多いらしい。「やるよ!」「遅いよ!」とサポートすることになりました。リ・ダ・から期待する点は、レッスンの進行がスムーズに行くように手伝って欲しい。事前にレッスンの内容を確認して歌詞力ードを各自に用意させたり、進行する中で注意出来るようにして欲しいそう。厳しいレッスンにも時には笑いが必要との事で、たまにボケたりしても流される事が多々あるそうで、ボケに反応する事も仕事らしい。「気を使って笑います」と梢ちゃん(^^)。リ・ダ・はできて当たり前と言われる。一人一人を理解して引っ張らなきゃいけない。自分がやって来た事を教えるのではなく、その子に合った教え方がをすることでした。次にリ・ダ・が直したいメンバのこんな点。積極性が無い事。チャンスを与えられても「出来ません」と言う場面があるとか。自主トレも少ないらしい。両立は難しいが、解った上で活動しているのだからと厳しい意見も。また、反省ノートは必ず書く事。これが次へのステップアップになります。感想では、今日から私は本物のサブリ・ダ・になりましたと梢ちゃん。りりかちゃんは注意することの大さを教わった。私一人が突っ走らないように、私にも言ってくださいと美香ちゃん。最後に SKi のテーマを歌って締めて終了です。でもこのイベント公開でやるってのは、記事にさせてメンバに読ませるため？



今月のしでかし ~豆を食べましたね?~

続いて「第1回 歴代リーダー集合」が行われました。今回も受付時に豆が配られましたが、これが重大な意味を持っていたとは、まだ誰も知るよしもありませんでした(謎)。まずは司会として、サブリーダーの梢ちゃんと、チーリーダーのりりかちゃんが登場。豆を配っていたメンバーですね。まずは歴代リーダーの印象を語ります。初代リーダーの吉成さんは声に特徴。昔のビデオをみて、歌って踊って可愛らしいとのこと。2代目の青山さんは逢った事がないのであまり解らない様子ですが、写真を見て利口そうな印象が。「え~」と騒ぐお客様を見て、「その反応はギャップあるんですか?」と梢ちゃん(^^)。青山さんのボケっぷりは見事でしたね。3代目の諸岡さんは一番逢ってみたいリーダーと梢ちゃん。ミッシェルの印象が強い様子。千葉っ子というイメージがあるそうですが、どんなイメージですか? 4代目の本田さんは、ゲストでも来ているので、バッチャリですね(^^)。ほんわかした声が可愛いそうで、暖かみのある頼れるリーダーとのことでした。5代目の美香ちゃんに対して「ここは沢山誓めておこう」と梢ちゃん(^^)。いろいろお世話になっていて有り難いとのこと。努力家でとても尊敬しているそうだ。まず最初に美香ちゃんが登場。「ひさしぶり~」と相変わらずのお客さん。当たられた梢ちゃん、思わず「いろいろ誓めておきまし...」と言ってしまい、ハッと固まります(^^)。でも全部聞こえていたらしい。美香ちゃんが入った時のリーダーは青山さんでしたが、翌月から諸岡さんに変わりリーダーぶりを見れなかったとのこと。吉成さんは居るだけでリーダーって感じで、なかなか持てる力じゃないと感心していました。本田さんはお笑い芸人みたいのこと。リアクションがすごいそうだ。言いたい放題に痺れを切らしてひろぽんが登場(^^); 丁寧な挨拶が不気味です。楽屋にもどって大丈夫でしょうか...。リーダーの良い点悪い点では、名前が良いとひろぽん(^^)。悪い点は、個人じゃなくて「リーダー」として見られる点と美香ちゃん。昔にひろぽんから聞いて、すごく印象に残っているらしい。しばらくすると、吉成さんの声が聞こてきます。スピーカーに向かって返答する梢ちゃん(^^)。最近の近況(c)は、二人目のお子さんを出産したらしい。自宅出産だったそうですが、助産婦さんが間に合わなくて大変だった様子。元気に育ってくれると良いですね。続いて諸岡さんの声も聞こえてきます。やけにハイテンションのなみちゃん。自分を知ってるお客様が居るか心配そうでしたが、そんな心配はいりません(^^)。あるお客様の白衣のバリエーションが増えた事を聞いて、感激していた様子でした(^^)。近況では、最近菜々ちゃんと良く逢っているらしい。質問コーナーでは、有名な菜々ちゃんファンの方と会話して感激しているなみちゃん。今度菜々ちゃんに自慢するらしい。お客様の方が距離が近いとひろぽん。立場が逆転してると、改めてお客様の凄さを認識しているようでした(^^)。それにしても諸岡・なみ子さんの声はしたが、姿がなかった...。まさか、幻覚剤入りのマメが...(笑)。



今月の特訓

本日3回目のイベントは「真冬に真冬の特訓」。先輩2名の怖いお姉さまたちによる地獄のシゴキシリーズとして行われたイベント。でも何で真冬ちゃんに特訓が必要なのか?って、一目瞭然ですね(^^)。この「一目瞭然」って真冬ちゃんわかるかなあ(^^)。怖いお姉さんは梢ちゃんと彩乃ちゃん。ただ「怖い」というのは悪く聞こえるので、怖いの前に「かわいい」と付けるようにとのことでした。真冬ちゃんを呼ぶ前に二人の近況を。前髪を切り過ぎたと梢ちゃん。季節の真冬は嫌いと梢ちゃん。彩乃ちゃんもそうらしい。真冬ちゃんが登場して特訓スタート。まずは地理。日本地図上で、北海道や近畿地方がどこか当てる問題。手書きの日本地図の絵が悪かったんですよねえ(笑)>真冬ちゃん。東西南北で左側を東と行ってしまう彩乃ちゃん、次の問題に移ります(笑)。ヨーロッパの国名はすらすらと答える真冬ちゃん。でもどこかで聞いた順番(^^)。歌にすれば簡単ですね。イタリアの形と言われて悩む真冬ちゃん。足の形ということで一つ覚えて帰ったようだ。続いて日本の歴史。杉田玄白は何をした人かは、人間の体のかいぼうを発見した人とのこと。解剖は発見できません(笑)。世界の原人のアustroropithecusは答える真冬ちゃん、次に移ります。次に突然ジャンプ力を。実は真冬ちゃんは体がかたいらしい。柔軟やりましょうと言うと、すかさず「いいです」と答える真冬ちゃんでした。続いてあっち向いてホイ。梢ちゃんとやってすぐ勝つ真冬ちゃん、次に移ります(笑)。いったいいいくつあるんですか?と焦りはじめる真冬ちゃん。モデル歩きは本を頭の上に乗せたまま歩くというもの。見事合格となりました。次はものまね。私いっぱいやってるじゃないですかと真冬ちゃん。出題者の方が苦手だったようだ(笑)。立場の弱くなつて来たお姉さまがここで反乱(^^)、漢字の読み書きに入ります。果汁の読みを、案の定「かじる」と書く真冬ちゃん。一期一会の読みを「いっきのみかい」とギャグを入れる真冬ちゃん(笑)。解らなければボケるのという基本は抑えてますね(^^)。ことわざでは、猿も木から落ちると真冬ちゃん。好きな言葉ですね。次は首振り。『テスト』の振り付けができるかを確認するもの。ボール取りはお客様とキャッチボール。完璧ではないけどそれなりにこなす真冬ちゃん、ボールの色は変わらなかったようだ(笑)。しりとりは動物編。彩乃ちゃんで詰まったので次に移ります(^^)。月蝕踊り、ジェスチャーと、無難にこなす真冬ちゃん。ハモリに関しては、わかんないですよねと次の問題に(笑)。地獄のシゴキも出題者の人選を誤ったかなあ。美香ちゃん舞香ちゃんなら怖かったでしょうねえ(^^)。最後に SKi の活動をどれだけ知っているかの知識問題。結成された年を、ヒントの 10 周年で考えて 2002-10 をホワイトボードで一つずつ計算する真冬ちゃん(^^)。これで、約 1 時間に半にわたるシゴキは終了。感想で必要無いんじゃないかと思ったけど楽しかったと真冬ちゃん。この経験はいつかきっと輝きます。結局、真冬ちゃんのペースにのせられて、地獄のシゴキを受けたお姉さまたちでした(笑)。



今月のしでかし ~あの感動をもう一度~

この日最後のイベントは、「女神ワルキュ - レ海底行」に参加したメンバー4人による「私たちの打ち上げ会」が行われました。前回と同じく入り口では豆が配されました。今回は怜奈さんとひなっちとく～みん。6億歳とかレ - 粉とかネタが使われる(苦笑)。司会で登場の美香ちゃん、「ネオファウスト地獄変」はまだ観ていないそうで、カレ - 粉が何だかわからないようだ。4人が出てくると飴くれ～だの偏差値70～だの騒ぐ客。もちろん最前列には血糊除けシ - トが(笑)。まずは4人の感想。血糊使いたかったのに、すでに刺されて出てくるからちょっとだけ塗ってみたと怜奈ちゃん。焼き芋は毎回1本使って余りは本番中に裏で食べてたそうだ。食べ物を無駄にしないのはいいことだが、本当にひめゆりブ になっちゃうゾ(^^)。ひなっちは「飴投げた時に頭に当たった方、ごめんなさい」とあやまります。本当に小さく見えた(橋本談)のは演技だそうだ(^^)。出る前に一ノ瀬さんと話すと、勇気が湧いてくるとは梢ちゃん。楽日の終了暗転の時、一ノ瀬さんが抱きしめてくれて感激したそうだ。血糊浴びるとかっこいいので、わざと浴びに行ったりしてらしい。久美子ちゃんは最終日に頭に鉄パイプをぶつけたそうだ。次が泣きながら歌うシーンで助かったらしい。質問コ - ナ - では、懐中電灯ネタ(下から懐中電灯で顔を照らしながら、何人かで台詞を分割してしゃべる)が大好評(^^)。思わず、見入ってしまったらしい。印象に残ってるシ - ンは、吉田「松島決戦」、片平「決戦後の記憶を無くした真理子がさまようシ - ン」、松本「ラストの手旗信号」、河野「虫じゃありません、飯です(は～と)」。名場面再演コ - ナ - では、美加里が芋を食べてるシ - ン、飴売りのサクラのシ - ン、松島に連れてきた浪子の登場シ - ン、七里ガ浜の哀歌の手旗信号などが再現されました。血糊が飛ぶシ - ンは無かったです(笑)。他のメンバ - がどの場面か把握できていないと、前後の台詞が客席から入ります(^^)。お客様に演ってもらいましょうかと美香ちゃん。続いて SKi と月蝕の徹底比較コ - ナ - 。年齢は月蝕は社会人中心で、妃奈子ちゃんが最年少出演者だった。男優がいるが女の子が男役やるほうがかっこいい(高取談)ので脇役のようだ。さて最後に1曲。かっこいいのがいいということで、ワルキュ - レ...じゃなく Dancing With Devil。今日の感想は、久々に歌って踊って疲れましたと久美子ちゃん。精神年齢 40 歳らしい。久しぶりに SKi に戻ってきたなあと怜奈さん。妃奈子ちゃんはお客様が芝居をよく覚えていてびっくりしたそう。梢ちゃんは芝居を思い出して懐かしんでいました。

最後に美香ちゃんからのアドバイスが。久美子ちゃんは動きを大きくするといい。怜奈さんは動きを大きくすると共に、アカペラでも聞かせられるように。妃奈子ちゃんはいつもと違う役ができるように。

梢ちゃんは台詞が近づくと瞬きが多くなること、時々森の石松が出る(^^)。全員に今後映画やドラマを観る時に自分が演るつもりで観ると勉強になるとのことでした。ボラには、美可里の食器やら飴屋のぼりやらが登場(笑)。お客様も役者ですね。



ちいさなしだかし

1月15日 THE DOORS FREE PARTY が行われました。招待状を持った方しか入れないとのことでした。が、内容はローリングストーンズなどのビデオの上演だったとのこと。ドリンクフリーで、おつまみも食べ放題だったらしい。

2月10日にはあなたも「オーディションの審査員」が行われる予定でしたが、延期になってしまったらしい。8月に月食歌劇団と合同のロックミュージカルのオーディションとのことでしたが。まだ企画が煮詰まってないのでしょうか？

今月はカウントダウンが行われています。今年はどんな曲が上位に来るのでしょうか？それに先立ち、惜しくも100に届かなかった圏外の曲が発表されました。有効投票数は1312票。無効票が138票もあったらしい。特徴としては、12点に172曲、そのまた1点差には163曲と、同点の曲が多かったらしい。今年もユニット曲が伸びなかつたようですね。なお、一位しか投票しなかった方が19名もいたらしい。

101位 ピーチガールのテーマ	111位 Plese Mr. Postman	
102位 キュンとする	112位 スキスキ大好き	
103位 TESS	113位 鳩よ！者へ苦さを	
104位 恋をしようよ	114位 恋の秘密	
105位 夢と希望	115位 春風に乗って	
106位 疑問	116位 私だけのヒーロー	
107位 シャララ	117位 Junky Monjjour	
108位 恋は数学	118位 ここにおいでよ	
109位 恋人たちの歌	119位 De' Lights	
110位 ダンシングセブンティーン	120位 アイーダ アリア#2(戦え！戦士達よ)	
121位 声を聴いて	129位 16才	140位 バスタイルム
121位 みんな元気	129位 なんでなんでですか	140位 まだ見ぬ世界を信じて
121位 It's So Good	129位 初恋にセレナーデ	140位 悪魔のP.T.A
121位 Amazing Grace	134位 楽じゃないのよ	140位 あなたに夢中
121位 OB-LA-DI OB-LA-DA	134位 記憶のない国へ	140位 イルミネーション
121位 恋は春夏秋冬	134位 ストロンガー	140位 偶然の一致
127位 コンプレックス	134位 Air Mail	140位 ケイコとイタコ
127位 サウンドオブサイレンス	134位 傷だらけの青春	140位 恋は雪のよう
129位 チャンスがなくちゃ	134位 明日に架ける橋	140位 19の春
129位 SOMETHING	140位 同世代の少女たちへ	140位 私らしく

同時開催で卒業式が行われました。遠藤舞香ちゃんと石澤彩乃ちゃんが卒業となりましたね。いつも見ていた笑顔が見られなくなるのは残念ですが、新しい道を悔いの無いように過ごせるよう祈っています。また、遊びに来て笑顔を見せてくださいね。

今月のOG

1月 26 日に自由が丘のカフェバー「La Rue」にて、「猫又毛七不思議」の第3回朗読ショーが行われました。今回もかこちゃんから告知があった関係で、多くの人が賑わいました。まずは冬木先生が席に着くと、案内役の月野林子が登場。朗読料 700 円とビデオ代 500 円を払おうとすると、ビデオ代はサービスとの事。前回朗読後に宿へ行く途中、化け猫を見て驚いた冬木先生は思わず林子に抱きついてしまったという事が判明(笑)。林子とのやり取りにたじたじの冬木先生でした。間もなくして徳満色香(かこちゃん)が登場。前回出た妹の美味は、2月に行われる舞台のリハで欠席との事。色香から、案内人の林子に惑わされてはいけませんと忠告を受ける冬木先生。色香が鳴らす鈴の音が、心正しき者には鈴の音に、邪念を持つ者には雷の音に聞こえるそうで、現場にいた人たちにはどの様に聞こえたのでしょうか(^^)。今回は地名を書いた札は無く、「笑いの森の化け猫」を読みました。炭焼きのいくぞうが、うわばみのおえんに会いに行く途中の道に寝ていた化け猫と遭遇し、「猫又毛馬鹿囃子」で難を逃れたというお話。朗読後林子が冬木先生を宿まで送ろうとすると、色香が「毬絵おばさんに会いに行く用がある」と言って、林子の代わりに冬木先生を連れて行きました。それを見た林子、なぜか悔しそうにしていましたが、なぜ…? 2回目。1回目と同じくしてビデオ代はサービスかと思った冬木先生でしたが、さっきはさっきと言われ渋々 700 円を払っていました。さらに、1回目と違って林子の突っ込みが激しい(笑)。いいように振り回される冬木先生でした。

また、2月 23 日には第4回の朗読ショーが行われました。今回の案内人は渦巻えつこさん。また新たな子が登場しました。林子さんはどうしたのか?と質問をすると、一身上の都合により辞めさせられたらしい。理由を聞くと、客と親密になりすぎたのが原因らしい。そんな発言に妙に反応するお客様多数(苦笑)。ちなみにその客とは、冬なんとかという名前のもっこり中年男性らしい(笑)。語り部の徳満姉妹が登場。なんと今回は3人もいます。長女の色香、次女の美味、そして3女のぜんざいです。色香から前回の忠告を守らなかったと注意をさせる冬木先生。大いに反省し、林子に対してもう未練は無いと言いました。が、3姉妹の顔をじっくり見ると、次女の美味の顔が林子に見えるではないですか(笑)。そんな会話についていけなくなるぜんざいをかばう色香でした。そんなこんなで朗読開始。今回は「鈴鳴りの岩の孝行息子」を読みました。主人公またぞうが、母のおえんに薬を買って帰る途中、化け猫に遭遇し殺されそうになるが、せめて母に薬だけは届けたいと言い、身代わりに婚約者のおひやくがなり、最後にはおえんとおひやくの2人で協力して、化け猫を谷底に突き落とすという話。2回目もほぼ同じ様に進行、最後には林子が登場し、冬木先生となにやら怪しい会話をしていました。次回の朗読ショーは3月 23 日で、SKi のコンサートと重なっていますね。



2月 11 日に大塚のライブハウスウェルカムパックにてOGの奥山みかこと涼尚子のLIVEが行われました。この日5組のアーティストが行われ、そのトップの午後4時から4曲が披露されました。バンド名は『N.A.O.32』。32才のメンバーが集まったからとのこと。私は違いますと否定する尚子ちゃんでした(^^)。ノリノリ(死語)のロックで、相変わらずの綺麗な高音も健在でした。最後のバンドの後、全員の出演者によるセッションがあつて終了となりました。

Love forever

~~しっかりと 新たな道を 踏みしめて~~

